

## ■研究推進委員会 2017 年度 活動報告書

提出日：2018 年 4 月 5 日

学術委員会承認日：2018 年 4 月 11 日

名 称	ランドスケープ教育・国際連携 研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：福岡孝則（東京農業大学） tf206471@nodai.ac.jp
幹 事	氏名（所属）：武田重昭（大阪府立大学） 連絡先（e-mail アドレス）： takeda@envi.osakafu-u.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 上原 三知（信州大学）、栗田 和弥（東京農業大学）、西山秀俊（株式会社 グラック）、山田 順之（鹿島建設株式会社）、三島 由樹（株式会社フォル ク）、保清人（株式会社 ロスフィー）、鈴木陵（株式会社 あい造園設計 事務所）
今年度 活動報告 成果	<p>① IFLA 世界大会（カナダ・モントリオール）、IFLA アジア太平洋地区大会（タイ、バンコク）への参加を通じた若手専門家ネットワークの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界及びアジア地域の教育・実務者との交流及び意見・情報交換等を通じて研究・実務の潮流について理解を深めた。</li> </ul> <p>② IFLA の動向を中心に、日本国内の大学・実務者（RLA 登録ランドスケープアーキテクト保有者を中心に）に向けた報告会を JLAU と連携して開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動や PPP に関するワーキングの情報共有、IFLA アジア太平洋地域学生デザインコンペ審査委員参加などを踏まえた動向、大会参加者による世代間や立場を超えた積極的な議論が行われた。</li> <li>・本報告会のサマリーをランドスケープデザイン誌に報告として掲載予定（2018 年 4 月刊行予定）</li> </ul>
次年度 活動計画 及び 想定される 成果	<p>① IFLA World, IFLA APR, JLAU との継続的な連携を通じて、教育・研究者と実務者のネットワークの構築と議論の場をつくる。 具体的な課題としては、PPP や気候変動 WG の取り組みの学会へのフィードバック、ランドスケープ憲章の共有や資格相互認証のための教育プログラム認定モデルを踏まえた日本での課題把握など。</p> <p>② 平成 30 年度研究推進委員会ミニフォーラムを開催予定（5 月 27 日 16:40～18:10） 「ランドスケープ教育・研究の国際動向と展望」 登壇予定者（上原・武田・保・福岡ほか）</p>